Nov. 1955

29

鮪漁業　第二十九号　昭和三十一年四月十日発行（毎月一回十日発行）

鮪漁業
Tuna Fishing

MAY 1958
LIBRARY
POFI
FISH & WILDLIFE
SERVICE

—晴和丸 撮—

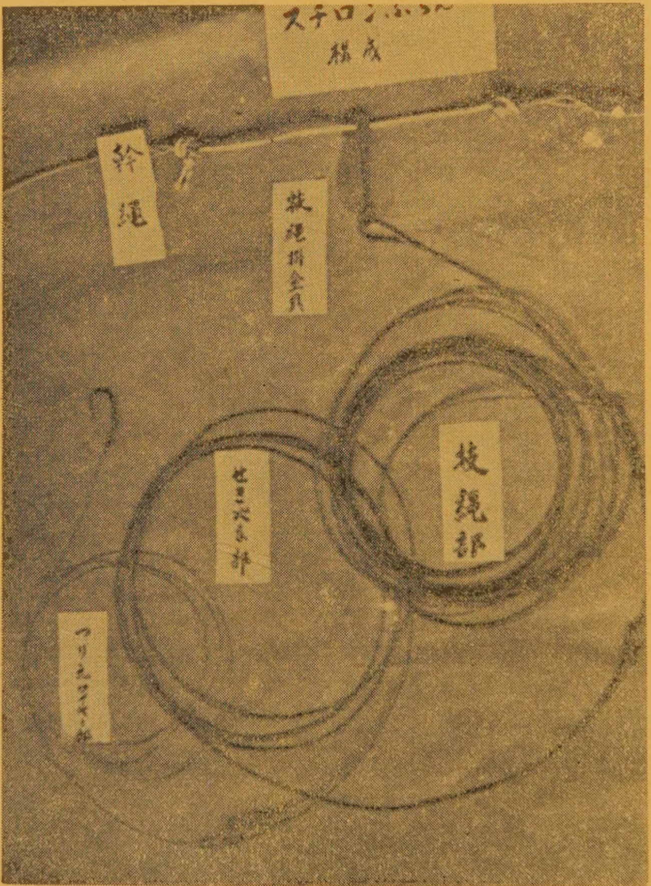
THE INVESTIGATIVE SOCIETY OF TUNA FISHERY
JAPAN

鮪漁業研究会

No. 29, 1956

漁獲能率の増進には

スチロンぶらんを!!


スチロンぶらん
構成
幹縄
枝縄用金具
枝縄部
せきやま部
つりもとワイヤー部

神奈川県水産試験場新造漁業指導船
相模丸（七〇〇屯）使用の**スチロンぶらん**構成

製造元　**兼松特殊漁具株式会社**
名古屋市北区東大曽根町上1丁目810番地　TEL (4) 4933番
代理店　**日本民衆産業株式会社三崎連絡所**
神奈川県三浦市三崎町西野34番地　TEL（三浦）851番
代理店　**神奈川県鰹鮪漁業協同組合**
神奈川県三浦市三崎町仲崎175番地　TEL(三浦)217・705番

── 目　次 ──

鮪漁船紹介　　第10崎吉丸　　第18光栄丸

鮪漁場図　　（昭和30年11月操業）

三崎他四港の水揚調査を主体とする遠洋鮪漁業の考察（昭和30年11月）…… 1

1. 調査の概要…… 1

2. 漁況の概要…… 1

3. 各漁場の漁況…… 2

4. 参考資料……11

鮪類標識放流について……12

米国から標識放流されたメバチの再捕について……13

月別、漁場別、鮪類漁獲調査表（昭和30年11月操業分）別表1……14

月別、漁場別、鮪類体長組成表（昭和30年11月操業分）別表2……16

鮪類水揚価格表（三崎）昭和31年3月……22

3管航行警報第18号……22

1954—1955年度太平洋赤道海域に於ける鮪資源と其の分布について……23

台湾だより……24

本会の図書誌の分譲其の他について……25

船用機器｝販売並修理
工業用計器｝

（株）東京計器製造所｝代理店
川崎重工業（株）｝

南北産業株式会社

本社　清水市万世町2ノ2番地
電話　清水1.412・3.837番
出張所　焼津市中448番地
電話　焼津3.488番

第10崎吉丸

船主　崎島理平（三浦市）
造船所　塩山船渠株式会社（大阪市）

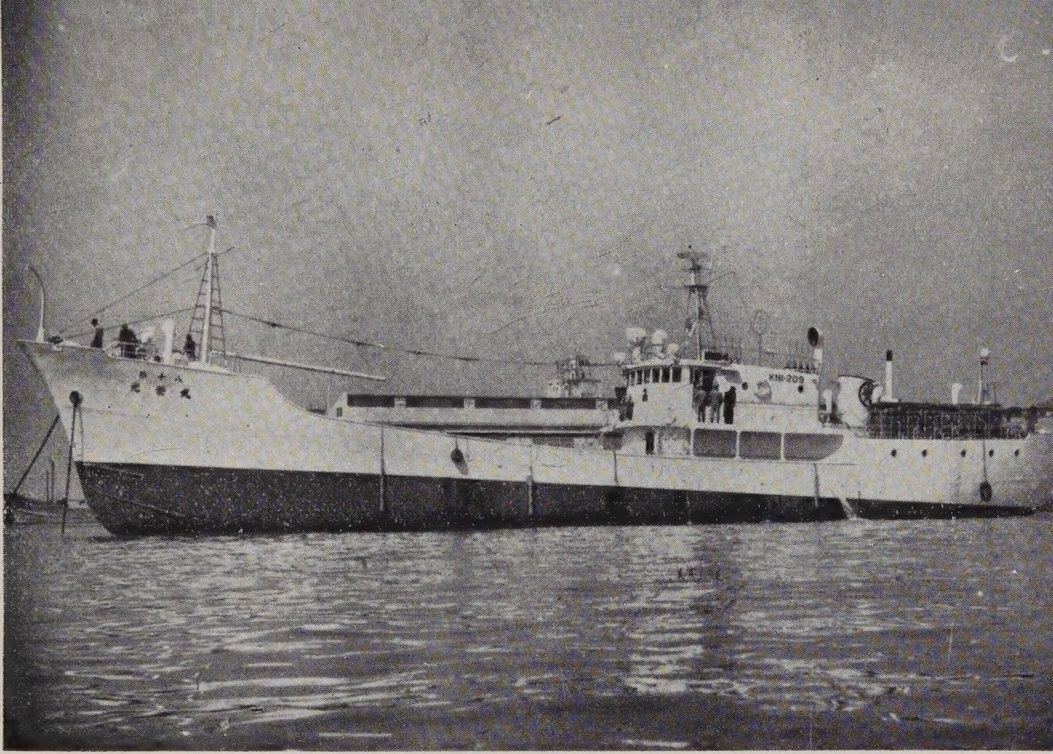
主要寸法	長42.86m×幅7.60m×深3.80m
総屯数	353.03噸
魚艙容積	353.07m^3
燃料油艙	210K.L
速力	最大 12.90節
主機	デーゼル 750HP 1基
補機	デーゼル 75HP 2基
無線	200W 75W 各1基
冷凍装置	アンモニヤ直膨式 7″ 2基
レーダー、方向探知機、音響測深機	各1式
竣工	昭和31年1月22日

強くて・安くて・腐らない

鮪延縄に絶対経験と信用のあるメーカー

クレモナ 万漁 国産製麻株式会社

本社　東京都中央区京橋三丁目四番地　電話東京(28)6605・6606番
工場　栃木県鹿沼市朝日町　電話(鹿沼)242・243番　同上野町　電話(鹿沼)377番



第18光栄丸

船主　金沢徳尾（三浦市）
造船所　株式会社　三保造船所（清水市）

主要寸法	長42.80m×幅7.50m×深3.85m
総屯数	377.13噸
魚艙容積	372.33m^3
燃料油艙	193.61m^3
速力	最大　12.18節
主機	デーゼル　750HP　1基
補機	デーゼル　100HP　80HP　各1基
無線	200W　2基　75W　1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式　7″×7″　2基
竣工	昭和31年3月2日

漁船の冷凍装置に定評ある

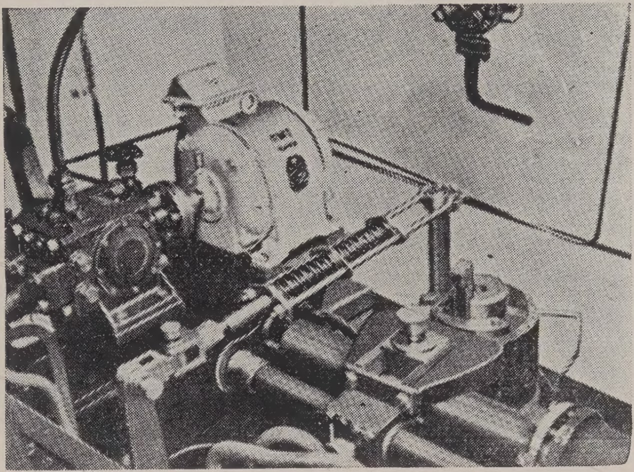
日新興業株式会社

本社　大阪市北区中之島3の3　（朝日ビル）　TEL.北浜(23)1334.2351.9531
東京支店　東京都中央区銀座西6の3（朝日ビル）　TEL.銀座(57)6804.6310
清水出張所　清水市三保本村四区　TEL.清水　2203
三崎連絡所　三浦市三崎町西浜46　海洋電機工作所　TEL.三崎　443

施工船名
第18光栄丸
第2長崎丸
第2東水丸
第18住吉丸
第5高宮丸
第12福吉丸
（其の他約弐百隻）

三菱小型ジヤネー式

電動油圧舵取装置



1馬力・2馬力
3馬力・5馬力
を量産中です。

三菱造船株式會社

本　社　東京都港区芝琴平町一番地
電話 芝 (43) 5111・6111（代表）
営業所　神戸・大阪・福岡
工　場　長崎造船所・下関造船所
広島造船所・広島精機製作所

漁船には専門メーカーの

穂高の漁業無線機を

★ 最新の技術と堅牢．高性能を誇る

500W
250W
150W
125W
75W
50W
35W
25W
10W

穂高通信工業株式会社

本　　社　東京都新宿区下落合1－6　TEL (95) 2595・6219
大阪営業所　大阪市西区京町堀上通2―21協栄ビル　TEL (44) 5792・4109
東京工場　東京都新宿区下落合1－6　TEL (95) 2595・6219
長野工場　長野県南安曇郡穂高町2579　TEL (穂高) 61
代理店　小樽・函館・八戸・気仙沼・石巻・塩釜・小名浜・那珂湊・銚子・三崎・清水・焼津・室戸・下関

三崎他四港の水揚調査を主体とする遠洋鮪漁業の考察

（昭和30年11月現況）

三崎　神奈川県水産試験場（野村、水島、齋藤、下里、中込、藤平、石渡）
東京　燒津　南海区水産研究所

1　調査の概要

昭和30年11月分の鮪延縄調査隻数は三崎38, 東京60, 燒津22, 計120隻である。各海区共に操業船は減少の傾向であるが、トンガ、南洋北部はやゝ増、南洋南部170°E以西の海区は著しく増加し、35°—40°N,150°—180°E, 30°—35°N,150°—180°E東北、西部太平洋共に10月に見られなかつた海區も相当數の隻數増加である。

体長測定隻数は68, 調査海区は21海区でそれぞれ前月より増加している。

2　漁況の概要

キハダの釣獲率はハワイ南西海区の5°N以北は前月に引きつゞいて、低下を續けてをり5°N以南では特に目立つて1.02と減少しているが、これは前月の3.0と云う率が例年に比べて高率であつた爲と思はれ、比較は無理であろう。

この海区としては全般の成績としては1.0前後と云う所であるまいか。

ハワイ南東海区より0°—20°N, 140°W以東の西経漁場も前月に引き続いて、低下を示している。

トンガ、ニューカレドニヤは横ばい狀態、ソロモン、小スンダチモール等は高率西部印度洋方面も大差なく、唯漁船は50—60°E, 0°—10°S附近に集中して操業している

メバチの釣獲率は、ハワイ南西、南洋南部共に前月に引き続いて低率、ハワイ南東5°N以北は例年よりやゝ高率を示している。

スマトラ西岸、ジヤワ沿海等大差なく低率。

ビンナガの釣獲率は北部太平洋の東經漁場中、35°—40°N, 170°E以西では大差なくトンガ海区では減少、ニューカレドニヤ海区でやゝ増加、前月僅かにあつたソロモン海区では始んど出現を見てない。

インドマグロは小スンダチモール沿海で僅かに出現しているのみである。

シロカワは赤道以南の海區で前月に引きつゞいて僅かに釣獲されてをり、前月より上昇を始めた海区の内ソロモン海域では低下、ニューカレドニヤ海区は急激に上昇をし

ている。

クロカワは赤道以北では概して低率、赤道以南の各漁場も低率を続けてをり、僅かに上昇の傾向が見られるのみである。

マカジキは全般を通じて殆んど前月と同様の率で低調である。

3 各漁場の漁況

A 太平洋西経中、南部漁場

ハワイ南東海区　ハワイ南西海区　0°—20°N, 140°W以東

0°—15°S, 160°—140°W　トンガ海区

この各海区で操業した船の内で三隻が、夫々海流を調査して報告しているが、180°E, 7°—8°N, 附近に西流、東流、混合してをり170°W以東、140°Wまでのうち5°N以北ではすべて東流である。

流速は何れも0.5—1.0節程度で、各船ともに散在して操業している。

（キハダ）

ハワイ南東、南西では殆んどの船が5°N以北で操業をしているが、釣獲率は低下を示してをり5°N以南では前月よりはるかに低下し、5°N以北は相變らず低率、他の三つの海區も大差ないが、何れも減少の過程である。

0°—15°S, 160°—140°Wで1隻、トンガ海区では島を中心にして東西で4隻操業しているがキハダは10月と同様前者は5月以降操業船なく最近の資料とは云えないが、30年5月には3.1の率を示している。

体長組成はやゝ大型が増え、140—160cmのものが63%となつている。

（メバチ）

ハワイ南西の5°N以北は隻数も半減してをり、釣獲率は前月とほゞ同様で5°N以南ではやゝ上昇してをり魚体は次第に小型になつて、130—140cmのものが中心となつて出現している。

5°N以北では更に小型で120—140cmのものが50%を占めており30年7月以降小型魚増加の周期に入つていることは明かである。

0°—22°N, 140°W以東では釣獲率は更に低下している。トンガ海區でも同様であるがこの漁場中最も東側（22°—24°S, 173°—171°W）で操業した1隻は1.0と他の船より高い率を示している。

（ビンナガ）

トンガ海区では10月より著しく釣獲率が低下、全般に見て低率期にあるようであ

る。其の他の海区では殆んど出現を見ないで5°N以北の漁場中6°—11°N,180°—174°Wの漁場で僅かに2尾釣獲されたのみである。

（クロカワ）

トンガ海区では釣獲率は上昇している。これは前月に引きつゞいているものゝ様でこの海区の体長組成は10月と殆んど同様で、唯若干大型魚の出現が僅かに見られる。其の他の海區では何れも前月より減少し、魚体も大きな變化はないが、130—140cmの小型のものが19％現はれて前月及、前々月に比べて増加している。

大体7月以降小型に移行していたが、11月に到り特に目立つている。

この變移は29年度業務報告に現はれている様に6—9月と漸減し、10月より更び小型の増加している傾向と同じ周期で注目されるが、詳細については今後の調査をまつべきであろう。

B 太平洋東経中部漁場

旧南洋庁沿海北部（南洋北部）　旧南洋庁沿海南部（南洋南部）

南洋北部では16°—20°N, 132°—136°Nで3隻、大体集中して操業している。

南洋南部では各海区で散在して操業している。（Tabl 1にその漁況を示す）

汐流は北部では測定されていないが、南部では各点で観測されてをり復雑な潮目がある。（操業圖參照）

130°E, 5°N附近では前月同様西流が主であるが、135°—140°E, 5°Nの附近で、NE—Eに流れる潮を観測している、然し水温には大差がない。

145°E, 3°N 附近に顯著な潮目が現はれ、この潮境で2隻が操業良好な成績をあげている。

Tadle 1　南洋南部各海区の漁況　(30—11)

区	分	操業海域	調査隻数	操業回数	鈎数		キハダ	メバチ	クロカワ
5°N以北	130°—140°E	5°—10°N 133°—138°E	3	36	54265	尾数 釣獲率	462 0.85	459 0.85	313 0.58
	140°—150°E	—	—	—	—		—	—	—
	150°—160°E	—	—	—	—		—	—	—
	160°—170°E	7°—9°N 162°—172°E	3	36	59552		239 0.40	393 0.67	497 0.83
	170°—180°E	3°—11°N 166°—174°E	1	13	20960		337 1.61	224 1.07	81 0.39
5°N以南	130°—140°E	3°—6°N 134°—142°E	2	33	50077		1366 2.37	268 0.54	248 0.50
	140°—150°E	3°—6°N 141°—143°E	2	30	43690		934 2.15	273 0.62	280 0.64

5°N 以南	150°—160°E	1°N—1°S 155°—159°E	1	11	20900		754 3.61	50 0.24	45 0.22
	160°—170°E	0°—5°N 169°—170°E	1	6	9900		176 1.78	16 0.16	38 0.38
	170°—180°E	—	—	—	—		—	—	—

（キハダ）

第10号新勝丸の資料によれば166°—177°E, 6°—7°N で前半、155°—158°E, 0°—3°S で後半、を操業しているが前半ではキハダは全く見るべきものなく後半漁場で全漁獲の 90 %を漁獲してをり、反對にメバチは少くなつていることを明かに示している。5°N 以北では大差がないが、170°—180°E の海域では上昇を見ている。

5°N 以南では 130°—140°E, 140°—150°E 何れも上昇 160°—170°E では 1.8 と甚だしく減少している。

170°E, 8°N 附近に NE, SW の潮境が見られこゝを界に西側と東側が大体良好で 5°N 以北 160°—170°E が 0.7 と低率である。

魚体は前月に引き続いて、中型が多いが、140°—150°E で 111—130cm の中、小型が 80% を占めている。南洋南部の各海域では殆んどが 120—130cm の型で占められ、160°—170°—180°E と東よりに移動するにしたがつて型の中心は大きい方に移行して前月と同様の傾向を示している。

（メバチ）

各海区共に大差なく低率であるが、僅かに上昇しているようで、明確な変動は現はれていない。

体長組成は南洋南部では各海区共 110—140cm のものが多く 160°—170°E, 7°—9°N で操業の船では次第に大型となつて 140—150cm のものが型の中心となつてをり 9月以降に比して 150°—160°E で殆んど型は不動で、160°—170°E, 170°—180°E の区域で大型になつて來ていることは、前月に述べたと同様である。

（クロカワ）

釣獲率は全海区に亘つて低率であり、5°N 以南、150°—160°E で最も低率を示し他の漁場も 0.4 前後で前月に比して、大差はないが 7°—9°N, 162°—172°E では 0.83 でかなり高い率を示している。

体長組成の中心は 150—170cm 附近に現はれて、170°E 以西はやゝ大型、以東で若干小型が混合しており、前月に比しても更に小型のものが増加している。

C 太平洋東経南部漁場

Table 2　ソロモン、ニューカレドニヤ海区漁況　(30—11)

区　分	操業区域	調査隻数	操業回数	鈎　数		キハダ	メバチ	ビンナガ	クロカワ	シロカワ	マカジキ
0°—5°S	0°—4°S 158°—167°E	1	14	25150	尾　数 釣獲率	1176 4.67	35 0.13	2 0.00	78 0.31	8 0.01	
5°—10°S	5°—6°S 175°—176°E	1	18	34650		343 0.90	367 1.05	2 0.00	34 0.09	6 0.00	10 0.00
10°—12°S	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—
15°—20°S	15°—17°S 146°—147°E	2	26	33790		364 1.07	4 0.00	58 0.17	28 0.01	1571 4.65	3 0.00
15°—20°S	16°—17°S 170°—172°E	1	9	15750		131 0.83	15 0.01	617 3.91	72 0.46	4 0.00	10 0.00
20°—25°S	21°—26°S 171°—174°E	1	18	33600		462 1.38	43 0.13	545 1.62	82 0.24	75 0.22	272 0.81

ソロモン海区　ニューカレドニヤ海区

ソロモン海区では2隻、ニューカレドニヤ海区で4隻、と前月に比べて操業隻数も激減している。前者の内1隻は主にギルバート島南西方、1隻はエリス島北方で操業をしている。(第2表參照)

(キハダ)

表によつて明かなるように、ソロモン海区の2隻を比較して見ると0°—5°Sで4.7を示しているのに対して南側の5°—6°Sでは僅かに0.9にすぎない。

前月最も釣獲率の高かつた10°—12°S, 145°—161°Eの漁場は11月には調査なく、ソロモン海区の内、南赤道流内と思はれる1隻が4.7の釣獲率を示している。

他は南下した漁場も大差なく低調である。体長の組成はソロモンでは121—150cmが70%を占めていたが8月以降大型魚が増え始めこれに對して11月操業では121—130cmが65.9%と中型魚が増加したことが注目される。

ニューカレドニヤ海区では2隻が殆んど同位置で濠洲東岸附近で操業しているがキハダは低率である。魚体の中心は130—140cm附近で前月と同様大差はない。

(メバチ)

釣獲率は0°—5°Sは前月に引き續いて低下をつゞけて0.13,5°—10°Sで僅かに上昇しているものゝ全海域とも僅少な率である。魚体は1隻分の調査で數も少いが前月よりはやゝ大型化して131—140, 161—170cmの2群が出現している。

ソロモン海区の内5°—6°S, 175°—176°Eで操業した船が1.05の釣獲率を示している。

(ビンナガ)

0°—5°S, 5°—10°S,の海区では殆んど出現していない。16°—17°S, 170°—172°Eで3.91と高率の船があるが、他の海区では何れも低調を續けている。

ソロモン海区では体長測定なく、ニューカレドニヤで現はれた型は、8,9,10月と同様であるが、91—100cmが約70%を占めて集中して出現している。

（クロカワ）

0°—10°Sの内では釣獲率は減少して、15°—20°Sと南部漁場では、やゝ増加の傾向が現はれている。釣獲尾數は僅かであるが、魚体はソロモン海区では、型はバラバラで151—170cmが前月に引き続いて最も多く55%を占めている。

（シロカワ）

15°—17°S, 146°—147°E　卽ち濠洲東方沿海附近で操業した2隻が圧倒的に漁獲をあげて釣獲率は4.7他は0.22で大した漁獲でない。

表で示されるように15°—20°Sの内150°E以西で4.7, 17°S, 172°Eで操業した1隻は僅かに4尾を釣獲しているにすぎない。そしてその西側で全く出現なく、東南部で若干釣獲されている。

魚体は160cm以下は全然なく、前月に比べて体長組成の中心が200cm前後に移つている。(10月には170—190cm)

（マカジキ）

北よりの海區では全く出現せず、21°—26°S, 171°—174°Eで前月より上昇して0.81を示している。この海區で漁獲したものゝ体長組成が不明であるが、濠洲東方の沿海よりで操業した船の資料によれば181—200cmの型が出現しているのみで、他の型は全く見られない。

D 東部印度洋方面

小スンダ,チモール沿海　ジャワ沿海　スマトラ西岸沿海

各海区合はせて5隻が操業、スマトラ西岸90°—100°E, 0°—5°Sで1隻、少スンダチモール110°E, 10°S附近に2隻潮流を観測しているが、スマトラ西岸はSE—E, 小スンダチモールではS—SWの潮がある。120°E—10°S附近で操業の1隻は相当沿岸よりで水温も、この海区で1番高い29.8°cを観測しているが、潮流は不明で、ジャワ沿海との相関性は表示出來ないが、10月に比べては高温を示している。

ジャワ、小スンダチモール共に10°S線を上下して4隻操業している。

（キハダ）

小スンダ,チモールでは4.2と高率を示し10月よりはるかに上昇している。他の2海区は何れも前月と同率で低調を続けている。

体長組成は、スマトラ西岸では9月以降若干變化が現はれ始め、組成の中心は 131

—140cmであるが30年9月に比べて魚体は大型が増加している。
他海区は測定なく不明。

（メバチ）

釣獲率はスマトラ西岸では2.3と上昇、ジヤワ沿海で若干下降状態、小スンダ,チモールでは10月と大差はない。後2者は何れも体長測定をしていないが、スマトラ西岸では1隻調査体長組成は前月に比較する資料がないが、前々月の組成と殆んど同様で29年10月同地附近で操業した船の資料によれば、魚体はやゝ大型になつている模様である。

（ビンナガ）

各海区共に低率を続けており、前月に比してやゝ上昇したのみである。スマトラ西岸では0°—4°Nの赤道附近では出現が僅小であるが、8°—10°S,89°—100°E附近で操業の船では1.52となつて前月に比し2倍の釣獲率である。
小スンダチモールでは見るべきものなく、ジヤワ沿海で1.5と上昇している。

体長測定は実施していない。

（イシドマグロ）

小スンダ,チモールで0.71と前月と比較して半減して、ジヤワ沿海で0.1と僅かに出現している。この地域で2隻操業の内9°S附近108°Eの船が0.06の出現に対し同経度の10°—11°Sと僅かに南で操業している船は全く釣獲していない。

（クロカワ）

各海区共に低率をつゞけスマトラ西岸0°—4°N附近で0.5,同8°—10°S附近でも同様の率で大差がない。小スンダ,チモール、ジヤワ沿海共に体長測定を実施してないがスマトラ西岸では171—190cmが約70%を占め、他のものは分散して出現している。

（其の他のカジキ類）

スマトラ西岸のシロカワ、及びマカジキは0.14,0.16と夫々前月と同様、低率を続けてをりジヤワ沿海、小スンダチモール共、全く低率で変化は認められない。
スマトラ西岸9°—10°S,101°—102°Eではシロカワの体長組成は各型に分散し、150cm以下の小型魚と171—180cmの中型がそれぞれ22%を占めてをり、前月小型魚が70%以上占めていたのに対して若干、大型になつて來ている。

E　バンダ、フロレス海区

前月全く操業船のなかつたこの海區で5隻が操業している。海況は4°S,126°E附近でE—0.6節N,NEと混み合つた潮が見られる°（操業圖參照）

29年11月の1節程度と比較してやゝゆるやかな潮で、何れも0.3—0.6節である。

水温は 124°E, 3°S 附近で 29.2°c、129°E, 5°S 附近で 29.6—30.1°c、と東よりに高くなつている。

（キハダ）

各船散在して操業しているが、全般に平均した釣獲率を示しているが漁場の一番南よりにいる船は漁獲は少ない。9月に比して 2.7 と上昇しているが、28年11月の資料によると、この海區の3.74と比較して低率である。

各船中釣獲率の最も高い船は 9°S, 127°E 附近で操業した船が 3.4, 最も低いのは 4°S 129°E 附近の 2.0, となつている。

何れも体長を測定していないので組成は明らかでないが 12 号福吉丸の資料によると5貫以上 10貫のものが最も多く、10貫以上がそれにつゞき、5貫以下のものは、東南方向に行く程多くなつている。

（メバチ）

6月にくらべて全般で 1.1 と増加してをり、この海区としては割合い良好と思はれる。28年11月の1.1と殆んど同率で、4,5月にくらべて高率になつていることも変りないようである。キハダの最も多かつた9°S, 127°E 附近はメバチは最も少く、釣獲率の最も高い所は 4°S, 129°E 附近で 2.0 である。

（カジキ類）

クロカワ、シロカワ共に低率で前々月9月と殆んど差が見られない。

F 西部印度洋

西部印度洋　アラビヤ海区

アラビヤ海1隻、0° 以南では 50°—60°E, 0°—10°S 内で6隻、其の東西で各1隻操業している。

印度洋 2°—20′S, 60°—02′E で NE/E 2.0節、27.9°c の潮を観測している船があり、これよりやゝ南西の漁場では W—NW 0.4—0.5 節のゆるやかな潮がある。

更に南下して 8°S, 54°E で NNE 0.3 節を観測している。（操業圖参照）

前月はこの海区で散在して操業していたが、今月には 50°—60°E, 0°—10°S で6隻が集中して操業している。併し、全般的の釣獲率は大差がない。

（キハダ）

釣獲率は前月よりやゝ上昇7.6となつている。各船共、西部印度洋でわはげしく移動して操業しているので明確な区域の分類は困難であるが、操業の全期間を通じて比

較的同位置で操業していた船5隻を選んで釣獲率を比較した表を次に掲げる。

Table 3　西部印度洋船別釣獲率

操業区域	キハダ	メバチ	クロカワ	シロカワ	マカジキ	メカジキ	ビンナガ
6°—7°S 51°—54°E	7.6	1.1	0.3	0.1	0.2	0.00	0.0
8°—9°S 52°—53°E	13.0	2.1	0.1	0.1	0.3	0.03	0.0
0°—4°S 53°—70°E	5.6	0.7	0.2	0.1	0.01	0.01	0.0
5°—6°S 63°—64°E	3.9	0.4	0.1	0.1	0.1	0.04	0.07
2°—3°S 63°—66°E	7.7	0.6	0.2	0.1	0.1	0.00	0.0

表で見られる通り大体8°—9°S 線の西側漁場に釣獲率が高く赤道近くでは東西何れも低率を示している。

西部印度洋では体長組成は小型より大型まで分散して現れ中心は 131—150cm までが 82%を占めて前月と同様の傾向で、東西に亘り、何れも大差ない。アラビヤ海区では釣獲率は 5.3 と低下してをり漁場は、はるかに東よりであるが、魚体は 10 月と全く同様で 131—140cm と大型が殆んどを占めている。

(メ　バ　チ)

両海区共に釣獲率は更に低下を續けている。8°—9°S, 52°—53°E で最も漁獲が多く以下赤道に近づくにつれて低下している。(第3表參照)

アラビヤ海区ではやゝ低下しているが、大差は認められず、体長組成は西部印度洋では夏より僅かに大型が多く、10 月、11 月、と殆んど同様で 141—160cm が最も多く出現してをり、他の型は分散している。全般に西側漁場で型が大きく東側に移るにしたがつて、小型が出現している。

(ビ　ン　ナ　ガ)

各海区共出現が僅少で 2°—4°S, 53°—70°E の間では全然なく、5°—6°S, 56°E 以東の漁場で 0.7—0.8 と 10 月より更に低率となつているが、東よりの漁場が比較的高い様である。

(カ　ジ　キ　類)

クロカワ、シロカワ、マカジキ、何れも 10 月と殆んど変らず低率、アラビヤ海区も 10 月と殆んど同様、クロカワの体長組成は 10 月に比して小型魚が次第に増え、反對に大型魚は減少している。

西部印度洋では矢張り前月と同様分散して出現しているが、特に目立つた変化は見られない。シロ、マカ、共に 10 月と同じ組成である。

G　北部太平洋

30°—40°N, 180°—140°W　ミッドウエー海區　30°—35°N, 150°—180°E

35°—40°N, 150°—180°E

30°N, 160°W 附近で6隻が集中操業を行つてをり、水温も復雑である。潮流は操業圖を參照され度い。概ね 160°W の線に潮境があり、流速は東流が 0.5—0.8, 西流は 0.3—0.6 節と若干差があるが 166°W, 30°N 附近ではゆるやかな（0.3）南流が見られる。

東経漁場では南流、北流が 35°N の線で混合、38 隻の操業船中大部分がこの線に沿つて、東西に亘つて操業をしている。

Table 4　北部太平洋（東経漁場のみ）緯度別、経度別釣獲率一覧表

区	分	操業海域	水温 (°c)	キハダ	メバチ	ビンナガ	クロカワ	マカジキ	メカジキ
35°—40°	150°—160°E	33°—39°N 151°—161°E	18.8—24.6	0.06	0.78	0.79	0.03	0.27	0.04
	160°—170°E	34°—41°N 159°—171°E	17.8—23.8	0.03	0.23	0.42	0.01	0.06	0.39
	170°—180°E	34°—40°N 168°—179°E	18.1—22.7	0.01	0.34	1.19	0.01	0.07	0.95
30°—35°	150°—160°E	33°—36°N 150°—158°E	19.4—24.0	0.04	0.85	0.32	0.03	0.25	0.07
	160°—170°E	31°—34°N 158°—169°E	19.0—22.8	—	2.01	0.22	—	0.08	0.01
	170°—180°E	31°—36°N 169°—180°E	18.1—23.6	0.06	1.18	1.99	0.03	0.14	0.13

（メバチ）

北部、西経漁場では全般に見て、やゝ上昇している。ミッドウエー海区は 10 月と同様の釣獲率を示している。30°—40°N, 180°—140°W の漁場では西よりに低く、東よりに高くなつている。この漁場で最も東で操業している3隻は釣獲率は何れも 2.3, 2.6, 1.7 と高率であるが、西側で操業している船は 0.4—0.7 と割合低率の船が多い。卽ち、この海区での釣獲率は西側で低く、東側で高い。

東経漁場では大略、同緯度に於いて西よりが若干高い。第4表に釣獲率表を示した。両海區との比較は前月と同様、ミッドウエー海区の方が釣獲率において、やゝ劣つている。

体長組成は前月と大差ないが、西よりでは分散してをり、東よりのものは割合に中大型が集中して出現している様である。

（ビンナガ）

西経漁場では各船とも釣獲率は低いが、173°W, 32°—38°N で操業の船が 2.7 と高率で、それよりやゝ西よりの 177°—175°W, 30°—36°N 附近では 2.3 とやゝ低い。

ミッドウエー海区では見るべきものなく 0.01 と僅少である。東経漁場では漁場の東側が（33°—35°N, 177°—180°E）が最も釣獲率高く他は何れも大した差を認められない。

（カジキ類）

マカジキの釣獲率は前月の傾向と同様で、32°—36°N の西より漁場で 0.32 と高率で、東え行くにつれて少い。クロカツは 10 月に比して激減してをり体長組成に大きい變化は見られない。

37°—40°N, 170°—180°E の水域では、「めか繩」の船が 5 隻ある。

メカジキは一般に東よりに釣獲率が高い。

前記のめか繩船は何れも釣獲率高く、1.4, 1.6, 1.9 を示している。

H 東北海区

20 屯前後の小型船が僅かに操業してをり、漁獲はさめ類が圧倒的に多く、まぐろ類がこれに続いている。

クロマグロが 0.7, と メカジキ 0.13, 何れの船も沿岸近く、中山崎 E/S 8 浬—15浬、で 6—8 回操業をしてをり、これらは終年この漁業をする船ではなく、漁期中間の一時的な操業と思はれ 30 年度始めてこの海区の漁況報告である。

参考　27 琴平丸漁撈長 米田氏

今航海の船の分布状態は東方珊瑚海を途いて印度洋に於いてはスンダ海（100°E—115°E, 9°S—15°S）アフリカ沿岸（48°—65°E, 2°—6°S）及び（75°—85°E, 2°S—7°S）の 3 区域に別れて前二者は相當數の漁獲があつたが本船操業区域は船少く、一般に水温も低く潮つけも混んでをり、繼続する漁は見られなかつた。

瀬附近操業の際も全く漁なく 2°N, 85°E 附近は白潮で鮫が多かつた。魚の型はまちまちで、2°N, 93°E 附近は潮も廣く、カジキ類が多かつたが（日に8—900貫程度）黄肌は全くなかつた。潮流も一般に速く荒天の為操業を中止した日もあつた。と報告している。

……

鮪類標識放流について

1 昭和31年2月11日より3月10日までの間に放流實施の委託をした船數は3隻である。(標識30本)

2 昭和31年2月11日より3月10日現在まで放流実施の報告のあつた船は7隻、放流尾數は23尾、である。

放流実施船名及び放流実施の概要

船名	標識番号	放流年月日	放流位置	魚種	尾數	体長
一号壽々丸	A0077—80	31—2—4	7°—4°N 164°—163°E	メバチ	3	135cm
八号順光丸	A0706	31—1—28	10°—36′S 90°—40′S	キメジ	1	82〃
三号榮丸	A0723	1—31	0°—35′S 143°—08′E	〃	1	33〃
〃	A0725	2—2	5°—45′S 144°—40′E	〃	1	52〃
磐城丸	A0976	2—13	2°—16′S 52°—23′E	メバチ	1	149〃
〃	A0977	〃	〃	〃	1	127〃
〃	A0978	2—15	3°—58′S 57°—00′E	〃	1	100〃
〃	A0979	〃	〃	〃	1	90〃
〃	A0980	〃	〃	キメジ	1	52〃
大盛丸	A0982	3—8	9°—21′N 178°—48′E	ダルマ	1	93〃
磐城丸	A1011	2—20	4°—54.5′S 59°—56.5′E	キメジ	1	67.5〃
〃	1012	〃	4°—44.5′S 60°—30′E	メバチ	1	109〃
〃	1013	2—18	4°—42.5′S 59°—45′E	〃	1	115〃
〃	1014	〃	〃	〃	1	66〃
〃	1015	〃	4°—54′S 59°—56.5′E	キメジ	1	100〃
富山丸	1027	1—21	4°—30′S 125°—00′E	メバチ	1	70〃
〃	1028	1—19	5°—30′S 125°—00′E	〃	1	50〃
〃	1030	1—25	4°—30′S 125°—30′E	キハダ	1	70〃
〃	1038	1—3	9°—00′S 126°—40′E	メバチ	1	50〃
〃	1039	1—9	10°—30′S 124°—00′E	キハダ	1	60〃
〃	1040	1—2	8°—30′S 128°—30′E	〃	1	60〃
7隻	23本				23尾	

米国から標識放流されたメバチの再捕について

ハワイの太平洋水産研究所 W. G. VAN CAMPEN 氏からの3月22日附の書面によつて同研究所で標識放流したメバチが再び日本漁船によつて再捕されたといふ知らせを受取つた。

放流時及び再捕時の詳細は次の通りである。

放流機関	PACIFIC OCEANIC FISHERY INVESTIGATIONS (HONOLULU)
〃実施船	同研究所調査船　マンニング号
〃 魚 種	メバチ（体長109cm）延縄によつて漁獲されたもの
〃 期 日	昭和30年1月31日
〃 位 置	30°59′N, 171°14′W（ミッドウエー島北東約400浬）
再 捕 船	松友丸（燒津）
〃時の体長	127.5cm (10貫8)
〃 期 日	昭和31年2月2日（367日目）
〃 位 置	29°50′N, 177°50′E

マンニング号は上記のミッドウエー島並東400浬に於て3尾のメバチを標識放流しているがその中の1尾は30年11月24日オアワ島正北690浬の地点で第5日康丸（福島）によつて再捕されたことは前号にも報告した通りで第2回目が今度の松友丸の再捕である。

同一地点で同時に放流されたメバチが1尾は西方に移動していることになりメバチの回游はかなり復雑な模様である。

尚 CAMPEN 氏は標識放流されたメバチ3尾の中2尾がが再捕されていることは北部太平洋に於ける鮪延縄の漁獲強度が相當強いのではないかと懸念されている。

月別、漁場別、鮪類漁獲調査表

漁場	操業区域	調査隻数	水温(°c)	流向 流速	操業回数	漁具数	鈎数			ま
									きはだ	めばち
0°—20°N 140°W以東	6°—8°N 140°—133°W	1	25.8 27.3		24	9,132	36,528	尾数 釣獲率	257 0.70	1035 2.85
ハワイ南東	5°—9°N 150°—140°W	2	25.8 6.8		50	18,018	78,226		598 0.76	1869 2.39
0°—15°S 160°—140°W	1°N—3°S 159°—156°W	1	24.6 6.5		17	6,497	32,485		871 2.69	101 0.31
30°—40°N 180°—140°W	28°—38°N 178°E-150°W	13	18.2 24.6		323	113,546	504,687		247 0.05	8333 1.65
ミッドウエー	24°—32°N 177°—157°W	7 (1)	20.0 26.5		175	60,065	261,226		246 0.09	3099 1.19
ハワイ南西 5°N以北	6°—11°N 180°—166°W	3	26.2 29.9		68	26,810	114,460		497 0.43	1472 1.29
ハワイ南西 5°N以南	1°—7°N 175°—165°W	2			42	16,115	80,575		819 1.02	757 0.94
トンガ海区	20°—24°S 180°—171°W	4	24.9 6.7		59	21,654	108,270		873 0.81	376 0.35
南洋北部	16°—20°N 132°—136°E	3	28.3 9.5		48	12,048	51,942		774 1.49	78 0.15
南洋南部 170°E以西	0°—9°N 133°—172°E	11	26.5 30.0		152	50,014	238,384		3933 1.65	1459 0.61
南洋南部 170°E以東	3°—11°N 166°—174°E	1	27.5 8.2		13	4,192	20,960		337 1.61	224 1.07
ソロモン海区	0°—6°S 158°—176°E	2	27.6 9.0		32	11,960	59,800		1519 2.54	402 0.67
ニューカレドニヤ	15°—26°S 146°—174°E	4	23.8 8.5		53	17,640	83,140		957 1.15	62 0.07
バンダフロレス	3°—10°S 124°—131°E	5	27.3 30.9		90	33,379	159,637		4358 2.73	1784 1.12
小スンダチモール	12°—13°S 120°—121°E	1	29.0 29.8		11	4,382	17,528		736 4.20	246 1.40
ジヤワ沿海	9°—11°S 108°—112°E	2	26.7 28.5	SSW 0.6—0.7	28	11,182	47,010		1257 2.67	800 1.70
スマトラ西岸	4°N—10°S 91°—105°E	2 (1)	26.9 29.7		78	30,825	130,418		3204 2.46	3012 2.31
アラビヤ海区	0°—2°N 67°—70°E	1	27.5 9.2		33	13,569	54,276		2899 5.34	631 1.16
西部印度洋	0°—13°S 47°—70°E	9	26.6 8.5		238	95,114	427,871		32313 7.55	4556 1.06
35°—40°N 150°—180°E	33°—41°N 151°—179°E	20	17.8 24.6		355	94,786	452,983		155 0.03	2278 0.50
30°—35°N 150°—180°E	31°—36°N 150°—180°E	18	18.1 24.0		329	83,366	389,689		178 0.05	4070 1.04
東北海区	36°—42°N 142°—146°E	4	14.5 21.4		26	2,558	7,674			
西部太平洋	22°—29°N 140°—146°E	4	20.0 8.6		67	14,295	60,700		217 0.36	395 0.65
計		120			2311	751,147	3418, 469		57.245 1.67	37·039 1.08

(昭和30年11月操業分)

(別表 1)

ぐろ			かじき					かつお	雑	さめ	計	記事
びんなが	黒まぐろ	いんどまぐろ	くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう					
			199	10	10	23	27		1	47	1609	体測隻数 0
			0.54	0.03	0.03	0.06	0.07		0.0	0.13	4.41	サメ未調査隻数 0
			339	18	26	12	113	77	105		3157	2
			0.43	0.02	0.03	0.02	0.14	0.10	0.13		4.04	2
126			60	2	6	4	1	51	88		1310	0
0.39			0.18	0.01	0.02	0.01	0.0	0.16	0.27		4.04	0
2504	11		234	4	525	135		14	305	1654	13966	6
0.50	0.00		0.05	0.00	0.10	0.03		0.00	0.06	0.33	2.77	1
15			177	2	289	25	10	66	376	763	5068	7
0.01			0.07	0.00	0.11	0.01	0.00	0.03	0.14	0.29	1.94	0
2			427	1	7	6	52		191	178	2833	1
0.00			0.37	0.00	0.01	0.01	0.05		0.17	0.16	2.48	2
1			62	8	7						1654	2
0.0			0.08	0.01	0.01						2.05	2
1756			349	23	926	25			101		4429	2
1.62			0.32	0.02	0.86	0.02			0.09		4.09	4
79			98	4	15	9	10		370	113	1550	0
0.15			0.19	0.01	0.03	0.02	0.02		0.71	0.22	2.98	0
2			1421	33	56	19	160	24	284	309	7700	4
0.00			0.60	0.01	0.02	0.01	0.07	0.01	0.12	0.13	3.23	8
			81		2	1				58	703	1
			0.39		0.01	0.00				0.28	3.35	0
4			112	14	10	7	30	116	19	49	2282	1
0.01			0.19	0.02	0.02	0.01	0.05	0.19	0.03	0.08	3.82	1
1220			182	1650	285	19	36	4	106		4521	2
1.47			0.22	1.98	0.34	0.02	0.04	0.00	0.13		5.44	4
			206	479	38	59	191		146		7261	0
			0.13	0.33	0.02	0.04	0.12		0.09		4.55	5
16		125	84	39	24	2	1				1273	0
0.09		0.71	0.48	0.22	0.14	0.01	0.01				7.26	1
720		30	179	140	44	3				442	3615	1
1.53		0.06	0.38	0.30	0.09	0.01				0.94	7.69	0
1546			654	178	213	23					8830	2
1.19			0.50	0.14	0.16	0.02					6.77	1
6			66	62	110	20	19		6	41	3810	1
0.01			0.12	0.10	0.20	0.04	0.04		0.01	0.08	7.09	0
158			856	367	623	176	169	94	246		39558	6
0.04			0.20	0.09	0.15	0.04	0.04	0.02	0.06		9.25	9
4282	5		81	19	686	2372		89	199	2775	12941	16
0.95	0.0		0.02	0.00	0.15	0.52		0.02	0.04	0.61	2.86	3
3605	8		117	7	791	344		103	303	2197	11723	3
0.93	0.00		0.03	0.00	0.20	0.09		0.03	0.08	0.56	3.01	0
	54					10			5	243	312	0
	0.70					0.13			0.07	3.17	4.07	0
19			13	1	94	49	1	1	126	746	1662	3
0.03			0.02	0.00	0.15	0.08	0.00	0.00	0.21	1.23	2.74	0
16061	78	155	5997	3061	4787	3343	820	639	2977	9615	141,817	68
0.47	0.00	0.00	0.18	0.09	0.14	0.10	0.02	0.02	0.09	0.28	4.15	46

月別、漁場別、鮪類体長組成表（昭和30年11月操業分）

（別表2）

魚種	測定船數	漁場	操業位置	操業回數		50 cm以下	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151 cm以上	計	漁獲尾數
きはだ	2	ハワイ南東	5°—9°N 150°—140°W	50	尾数 %						3 1.4	20 9.1	50 22.8	64 29.2	21 9.6	34 15.5	27 12.3	219 100	598
	3	30°—40°N 180°—140°W	28°—38°N 178°—150°W	69							1 1.3		1 1.3	10 13.3	10 13.3	13 17.3	40 53.3	75 100	99
	6	ミッドウエー	24°—32°N 177°—157°W	146								1 0.6	4 2.3	19 10.9	30 17.1	34 19.4	87 49.7	175 100	211
	1	ハワイ南西 5°N 以北	6°—10°N 171°—169°W	24									7 36.8	10 52.6	1 5.3	1 5.3		19 100	71
	2	〃 5°N 以南	1°—7°N 175°—165°W	42								2 0.9	51 23.3	53 24.2	37 16.9	48 21.9	28 12.8	219 100	819
	2	トンガ	20°—22°S 180°—175°W	34									2 1.4	7 4.9	30 21.1	55 38.7	48 30.8	142 100	346
	4	南洋南部 170°E 以西	0°—8°N 133°—172°E	60			1 0.1	5 0.5	8 0.8	16 1.6	9 0.9	83 8.4	376 38.0	343 34.6	142 14.3	7 0.7		990 100	1376
	1	〃 170°E 以東	3°—11°N 166°—124°E	13						1 1.1	2 2.3		7 8.0	30 34.5	43 49.4	4 4.6		87 100	337
	1	ソロモン海区	0°—4°S 158°—167°E	14									8 3.7	143 65.9	63 29.0	3 1.4		217 100	1176
	2	ニューカレドニヤ	15°—17°S 146°—172°E	25					2 1.4	7 4.8	4 2.8	1 0.7	15 10.3	40 27.6	51 35.2	20 13.8	5 3.4	145 100	364
	1	スマトラ西岸	9°—10°S 101°—102°E	30										23 23.0	59 59.0	16 16.0	2 2.0	100 100	1294
	1	アラビヤ海区	0°—2°N 67°—70°E	33										4 1.8	111 49.3	99 44.0	11 4.9	225 100	2899
	6	西部印度洋	0°—13°S 47°—68°E	180						1 0.1	1 0.1	2 0.1	73 4.9	84 5.7	542 36.6	677 45.7	100 6.8	1480 100	24049
	12	35°—40°N 150°—180°E	33°—41°N 151°—175°E	208				2 2.4				1 1.2	5 5.9	10 11.8	24 28.2	26 30.6	17 20.0	85 100	96
	12	30°—35°N 150°—180°E	31°—36N° 150°—176°E	216					3 2.0		2 1.4		4 2.7	24 16.3	55 37.4	45 30.6	14 9.6	147 100	161

	3	西部太平洋	22°—27°N 140°—146°E	51			1 0.5	15 8.2	39 21.4	8 4.4	2 1.1	6 3.3	29 15.9	57 31.3	24 13.2	1 0.5		182 100	189
〃	〃	〃	〃	〃		80 cm 以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181 cm 以上	〃	〃
めばち	2	ハワイ南東	5°—9°N 150°—140°W	50						6 1.6	32 8.4	51 13.4	75 19.7	72 18.9	77 20.3	34 8.9	33 8.7	380 100	1869
	10	30°—40°N 180°—140°W	29°—40°N 180°—140°W	217		177 7.8	103 4.5	11 0.5	41 1.8	237 10.5	187 8.3	241 10.6	424 18.7	393 17.4	297 13.1	117 5.2	37 1.6	2265 100	4712
	7	ミッドウェー	24°—32°N 177°—165°W	175		47 2.8	91 5.4	33 1.9	11 0.6	70 4.1	280 16.5	221 13.0	245 14.4	267 15.7	282 16.6	124 7.3	25 1.5	1696 100	3099
	1	ハワイ南西 5°N 以北	6°—10°N 171°—169°W	24						6 5.6	23 21.5	31 29.0	7 6.5	14 13.1	17 15.9	7 6.5	2 1.9	107 100	563
	2	〃 5°N 以南	1°—7°N 175°—165°W	42						14 6.3	34 15.4	48 21.7	36 16.3	25 11.3	29 13.1	24 10.9	11 5.0	221 100	757
	2	トンガ海区	20°—22°S 180°—175°W	34					1 4.5		2 9.1	3 13.6	1 4.5	8 36.4	4 18.2	3 13.6		22 100	44
	4	南洋南部 170°E 以西	0°—8°N 133°—172°E	60		7 1.6	7 1.6	7 1.6	20 4.5	75 17.0	71 16.1	123 27.8	83 18.8	36 8.1	12 2.7		1 0.2	442 100	586
	1	〃 170°E 以東	3°—11°N 166°—174°E	13			1 50.0	1 50.0										2 100	224
	1	ソロモン 海 區	0°—4°S 158°—167°E	14			1 3.0	4 12.1		1 3.0	7 21.2	13 39.4	6 18.2	1 3.0				33 100	35
	1	スマトラ 西 岸	9°—10°S 101°—102°E	30					1 0.6	17 10.3	26 15.8	32 19.4	63 38.2	22 13.3	4 2.4			165 100	1518
	1	アラビヤ 海 区	0°—2°N 67°—70°E	33					3 6.8	4 9.1	8 18.2	10 22.7	9 20.5	8 18.2	2 4.5			44 100	631
	6	西部印度洋	0°—13°S 47°—68°E	180				2 0.4	22 4.2	38 7.2	46 8.7	71 13.5	113 21.4	141 26.8	84 15.9	8 1.5	2 0.4	527 100	3422
	16	30°—40°N 150°—180°E	33°—41°N 151°—175°E	277		36 2.5	137 9.6	30 2.1	27 1.9	376 26.3	253 17.7	132 9.2	193 13.5	112 7.8	73 5.1	34 2.4	28 2.0	1431 100	1751
	12	30°—35°N 150°—180°E	31°—36°N 150°—176°E	217		73 4.2	99 5.7	26 1.5	60 3.4	362 20.7	401 22.9	241 13.8	213 12.2	104 5.9	112 6.4	37 2.1	20 1.1	1748 100	2365
	3	西部太平洋	22°—27°N 140°—146°E	51		93 34.4	32 11.8	2 0.7	4 1.5	38 14.0	17 6.3	22 8.1	25 9.2	28 10.3	9 3.3	1 0.4		271 100	279

（別 表 2)

魚種	測定船数	漁　　場	操業位置	操業回数		40 cm 以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121 cm 以上			計	漁獲尾数
びんちょう	4	30°—40°N 180°—140°W	26°—38°N 179°E-172°W	90	尾数 %					1 0.3	57 18.7	120 39.3	88 28.9	33 10.8	6 2.0			305 100	1950
	2	ミッドウェー	24°—29°N 176°—159°W	60							7 53.8	1 7.7	1 7.7	4 30.8				13 100	13
	2	トンガ	20°—22°S 180°—175°W	34						3 0.8	10 2.8	185 51.1	164 45.3					362 100	926
	1	ニューカレドニヤ	16°—17°S 170°—172°E	9							23 13.1	123 69.9	30 17.0					176 100	617
	16	35°—40°N 150°—180°E	33°—41°N 151°—175°E	277					4 0.6	88 13.5	428 65.4	95 14.5	19 2.9	20 3.1				654 100	2868
	11	30°—35°N 150°—180°E	31°—36°N 151°—175°E	190				9 1.7	24 4.5	14 2.6	175 33.0	139 26.2	123 23.2	45 8.5	1 0.2			530 100	1753
	1	西部太平洋	22°—27°N 143°—146°E	18									2 40.0	3 60.0				5 100	5
〃	〃	〃	〃	〃		140 cm 以下	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—260	261 cm 以上	〃	〃
くろ	2	ハワイ南東	5°—9°N 150°—140°W	50		6 6.2	2 2.1	5 5.2	12 12.8	18 18.7	14 14.6	7 7.3	5 5.2	9 9.4	7 7.3	9 9.3	2 2.1	96 100	339
	5	30°—40°N 180°—140°W	29°—38°N 178°E-154°W	116					1 1.3	7 9.0	2 2.6	6 7.7	12 15.4	20 25.6	13 16.7	13 16.7	4 5.1	78 100	78
	5	ミッドウェー	24°—32°N 177°—157°W	136		1 1.0	1 1.0	4 4.0	5 5.1	9 9.1	5 5.1	7 7.1	14 14.1	19 19.2	15 15.2	14 14.1	5 5.1	99 100	146
	1	ハワイ南西 5°N 以北	6°—10°N 171°—169°W	24		8 19.5		6 14.6	6 14.6	10 24.4	3 7.3		2 4.9	1 2.4	1 2.4	4 9.7		41 100	115
	1	〃 5°N 以南	1°—4°N 175°—159°W	11		4 18.2	2 9.1	1 4.5	7 31.8	1 4.5	1 4.5			1 4.5	2 9.1	3 13.6		22 100	26
	2	トンガ	20°—22°S 180°—175°W	34					5 9.3	13 24.1	13 24.1	3 5.6		6 11.1	4 7.4	9 16.7	1 1.9	54 100	192
	4	南洋南部 170°E 以西	0°—8°N 133°—172°E	60		18 4.1	76 17.0	149 33.4	88 19.7	50 11.2	14 3.1	18 4.0	8 1.8	2 0.4	12 2.7	10 2.3	1 0.2	446 100	673

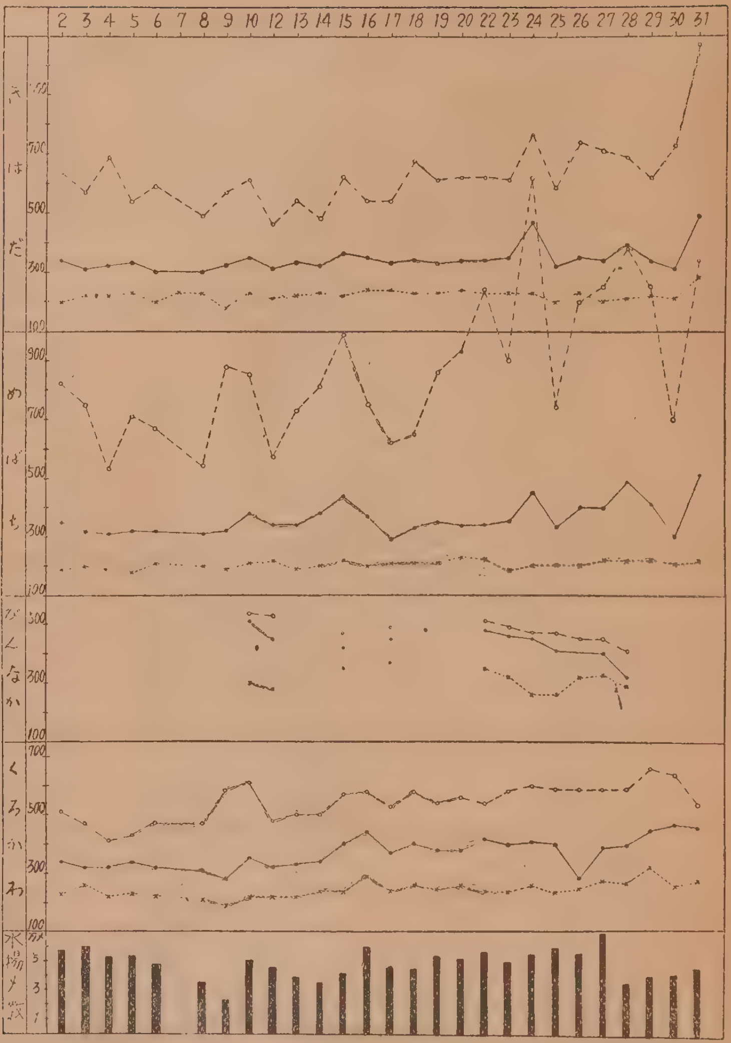
かわ	1	〃 170°E 以東	3°—11°N 166°—174°E	13		2 6.8	4 13.8	11 37.9	8 27.6	2 6.9				1 3.4	1 3.4			29 100	81
	1	ソロモン 海区	0°—4°S 158°—167°E	14			3 3.8	21 26.9	22 28.2	9 11.5	1 1.3	9 11.5	4 5.1	6 7.7	1 1.3	2 2.6		78 100	78
	1	ニユーカレ ドニヤ海区	15°—17°S 146°—148°E	16											1 33.3	2 66.7		3 100	20
	1	スマトラ 西岸	9°—10°S 101°—102°E	30			1 3.1		3 9.4	12 37.5	11 34.4	1 3.1	2 6.3		1 3.1		1 3.1	32 100	232
	1	アラビヤ	0°—2°N 67°—70°E	33			1 4.3	3 13.0	6 26.1	7 30.4	1 4.3	1 4.3			1 4.3	3 13.0		23 100	66
	6	西部印度洋	0°—13°S 47°—68°E	180				1 0.9	27 24.5	27 24.5	17 15.5	15 13.6	9 8.2	7 6.4	1 0.9	4 3.6	2 1.8	110 100	696
	10	35°—40°N 150°—180°E	33°—38°N 151°—177E	164		1 2.1	5 10.6	1 2.1	4 8.5	5 10.6	1 2.1	5 10.6	8 17.0	4 8.5	5 10.6	5 10.6	3 6.4	47 100	56
	10	30°—35°N 150°—180°E	31°—37°N 151°—175°E	177				2 2.4	6 7.2	15 18.1	8 9.6	18 21.7	9 10.8	10 12.0	5 6.0	7 8.4	3 3.6	83 100	89
	2	西部太平洋	22°—27°N 140°—146°E	33		5 83.3		1 16.7										6 100	10
しろかわ	2	ハワイ南東	5°—9°N 150°—140°W	50						1 20.0					2 40.0	2 40.0		5 100	18
	1	30°—40°N 180°—140°W	30°—32°N 165°—153°W	23						1 100								1 100	3
	1	ミッド ウエー	28°—30°N 167°—157°W	30						1 100								1 100	1
	1	ハワイ南西 5°N 以南	1°—4°N 175°—159°W	11		1 25.0	1 25.0		1 25.0		1 25.0							4 100	4
	2	トンガ	20°—22°S 180°—175°W	34							3 42.9	1 14.3				1 14.3	2 28.6	7 100	14
	2	南洋南部 170°E 以西	3°—7°N 133°—143°E	28				1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5		1 12.5			8 100	9
	1	ソロモン	0°—4°S 158°—167°E	14			2 28.6	2 28.6	2 28.6							1 14.3		7 100	8
	1	ニユー カレドニヤ	15°—17°S 146°—148°E	16					13 9.4	11 8.0	12 8.7	20 14.5	14 10.1	24 17.4	21 15.2	13 9.4	10 7.2	138 100	1166

（別表 2）

魚種	測定船數	漁場	操業位置	操業回數		140 cm 以下	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—260	261 cm 以上	計	漁獲尾數
し	1	スマトラ西岸	9°—10°S 101°—102°E	30	尾數 %		4 22.2	1 5.6	1 5.6	4 22.2	3 16.7	2 11.1		1 5.6	1 5.6		1 5.6	18 100	70
	1	アラビヤ	0°—2°N 67°—70°E	33							1 7.1	1 7.1	2 14.3	3 21.4	2 14.3	3 21.4	2 14.3	14 100	52
ろ	6	西部印度洋	0°—13°S 47°—68°E	180					1 2.2	5 11.1	6 13.3	4 8.9	10 22.2	8 17.8	7 15.6	3 6.6	1 2.2	45 100	285
か	3	35°—40°N 150°—180°E	34°—38°N 154°—177°E	57		7 36.9	3 15.8	4 21.1	1 5.3	1 5.3	1 5.3		2 10.5					19 100	19
わ	3	30°—35°N 150°—180°E	33°—36°N 151°—158°E	53						1 33.3	1 33.3						1 33.3	3 100	3
	1	西部太平洋	22°—27°N 143°—146°E	18				1 100										1 100	1
〃	〃	〃	〃	〃		100 cm 以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201 cm 以上	〃	〃
	2	ハワイ南東	5°—9°N 140°—180°W	50						2 8.0	9 36.0	7 28.0	1 4.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0		25 100	26
	6	30°—40°N 180°—140°W	29°—38°N 177°E-153°W	133						16 9.5	65 38.5	36 21.3	23 13.6	19 11.2	10 5.9			169 100	205
ま	5	ミッドウェー	24°—32°N 177°—157°W	137		3 1.8	9 5.5	4 2.4	1 0.6	17 10.3	65 39.4	26 15.8	16 9.7	13 7.9	7 4.2	3 1.8	1 0.6	165 100	249
	1	ハワイ南西 5°N 以北	6°—10°N 171°—169°W	24								1 50.0				1 50.0		2 100	2
か	1	〃 5°N 以南	1°—4°N 175°—159°W	11										1 25.0	3 75.0			4 100	4
	2	トンガ	20°—22°S 180°—175°W	34									1 0.4	4 1.6	24 9.4	79 31.0	147 57.7	255 100	536
	2	ニューカレドニヤ	15°—17°S 146°—172°E	25											1 14.3	6 85.7		7 100	12
じ	1	スマトラ西岸	9°—10°N 101°—102°E	30							1 8.3	4 33.3	3 25.0	2 16.7	2 16.7			12 100	83

き	1	アラビヤ	0°—2°N 67°—70°E	33										15 23.8	11 52.4	5 23.8		21 100	110
	5	西部印度洋	0°—13°S 47°—68°E	144								2 2.5	6 7.4	29 35.8	35 43.2	9 11.1		81 100	367
	14	30°—40°N 150°—180°E	34°—40°N 155°—175°E	246		1 0.2			2 0.4	23 4.8	162 33.7	170 35.3	75 15.6	38 7.9	7 1.5	2 0.4	1 0.2	481 100	496
	13	30°—35°N 150°—180°E	31°—36°N 151°—176°E	227			1 0.2		2 0.3	44 7.2	151 24.6	234 38.2	120 19.6	53 8.6	6 1.0	2 0.3		613 100	613
	3	西部太平洋	22°—27°N 140°—146°E	51		22 28.6	35 45.5	8 10.4			3 3.9	7 9.1	2 2.6					77 100	77
めかじき	4	30°—40°N 180°—140°W	29°—36°N 178°E-153°W	82		5 10.8	5 10.8	6 13.0	6 13.0	4 8.7	6 13.0	1 2.2	2 4.3	4 8.7	5 10.9		2 4.3	46 100	46
	2	ミッドウエー	24°—30°N 176°—159°W	53		5 62.5		3 37.5										8 100	8
	1	トンガ	20°—21°S 180°—179°W	11						1 12.5	1 12.5	1 12.5		3 37.5			2 25.0	8 100	8
	3	ニューカレドニヤ	20°—27°S 147°—173°E	138		1 1.2		1 1.2	1 1.2	2 2.3	8 9.3	10 11.6	24 27.9	10 11.9	13 15.1	9 10.5	7 8.1	86 100	211
	14	35°—40°N 150°—180°E	33°—41°N 152°—177°E	248		128 8.4	43 2.8	49 3.2	108 7.1	186 12.2	225 14.8	248 16.3	270 17.8	118 7.8	77 5.1	36 2.4	31 2.0	1519 100	2311
	12	30°—35°N 150°—180°E	31°—37°N 151°—175°E	206		48 20.6	17 7.3	18 7.7	27 11.6	29 12.4	23 9.9	20 8.6	9 3.9	10 4.3	13 5.6	6 2.6	13 5.6	233 100	233
	3	西部太平洋	22°—27°N 140°—146°E	51		14 48.2	2 6.9		2 6.9	4 13.8	1 3.4	4 13.8		1 3.4		1 3.4		29 100	29

鮪類水揚価格表（三崎）昭和三十一年三月

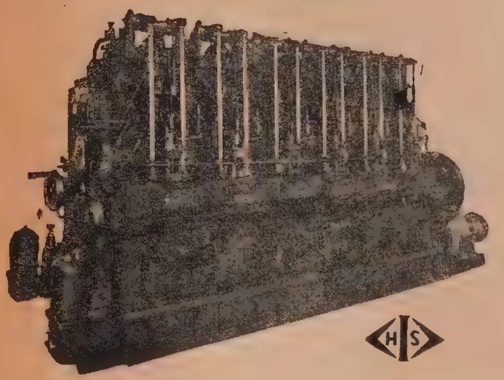


（3 管航行警報第18号）

米国水路部の発表によれば、オーストラリヤ北西岸モンテベロ諸島附近の次の区域は、原子兵器実験のため5月1日以降危険区域に指定さる。

区域は、フラッグ島（20°27′30″S, 115°35′00″E）を中心とする半径150マイルの円内海面。

（出所　海上保安庁水路部）



ハンシン
デイーゼル

陸舶用デイーゼル
50 HP — 1200 HP

阪神 T6 Z900 HP（鮪漁船第12住吉丸主機関）

阪神内燃機工業株式会社

本社　神戸市長田区一番地1丁目　電話 湊川 (5) 1531—6
東京支店　東京都千代田区丸ノ内・丸ビル60区　電話和田倉 (20) 3640－1
下関出張所　下関市豊前田町・第一ビル内　電話 下関 768

緑星社の SV6型

ラジオブイ

用途；鮪延縄・鮭鱒流網・捕鯨・底曳トロール
漁具流失防止 位置確認 操業時間短縮 等々

株式会社 **緑星社**

東京都中央区築地5の1 TEL (54) 2371 5171-9 2171-9 内線734
函館出張所 函館市根崎町140

……新時代の冷凍機……

（高速多気筒）

ダイヤ冷凍機

（新三菱重工製）

設船船舶冷凍装置・製氷冷蔵凍結施設

設計・製作・施工

株式会社　**東洋製作所**

本社・工場　東京都品川区東品川５の６１
電話大崎（49）代表2173～7番（49）6004番営業部直通
営業所　大阪市北区梅田町４７（新阪神ビル）
電話福島（45）4914（直通）9231～5（内線372）

営業種目

船舶・陸上

冷凍・冷蔵・製氷・冷房

冷凍・冷蔵・製氷工場
急速・空気凍結装置
冷房装置・冷凍機械器具
防熱装置・船舶冷凍冷蔵

設計
製作
施工

協同低温工業株式会社

本社　東京都千代田区神田佐久間町河岸58号（夏目ビル２階）
電話下谷（83）０９９６番

1954～1955年度太平洋赤道海域に於ける鮪資源と其の分布について

——フイシエリー、プロダクト、レポート——

（Feb. 20. 1956）より

§.　太平洋水産研究所による1954度の太平洋赤道海域に於ける試験並びに一般漁業による漁獲物の分析によれば同年度に於けるキハダ鮪の漁獲量は前年度に於けるものよりも遥かに尠いものであつたことを示している。過去の実績よりみて1954年9月より1955年7月まで期待されていた、より多くの漁獲高は結局に於て実現されなかつた。クリスマス島支所の1954年度記録の簡単なる解析によれば水温が平年より非常に低いことがこの不漁の時期に一致して起きており1954年初期に於ける好漁期には水温も殆ど平年並であつたことを示している。

これらの水温の変化は赤道海域に於ける躍層（上昇潮）の力と大いに関連しているものと思料される。

非常に低い温度の水帯の出現は、激しい躍層（上昇潮）の出現のための如く思われこの水域が鮪の餌料たるべき動植物を充分育成させるべきほどの広さの混濁地常を形成しなかつたことに原因するものと思われる。かくの如き低温水帯は鮪の大魚群を維 ＊

＊ 持することは出来ないものなのである。

ライン諸島地帯に於ける漁獲の年間変化を記録すべく初められた年間漁獲統計標本調査計画（サムプリングプログラム）は継続して進められている。

1955年度に於ける鮪の資源量は1954年に於けるものと同様に低率を続けたしこれと相関的に1955年度に於ける漁獲の不良は水温が1950—1954年の期間の水温に比較しても尠くとも非常に冷いものであつたことである。事実1955年の12月に於て75°Fという水温が通常78°—82°Fであるべき地帯に見られたことである。

漁獲統計調査計画に附随して900尾のキハダ鮪が標識放流された。

§.　アメリカ領サモア地区鮪船団の漁獲好成績

オーストラリヤ月刊紙パシクイツク、アイランドマンソリイ誌によれば、パゴパゴ基地のアメリカ、サモア鮪船団による1955年冬期の鮪漁業は立派な成績を収めつつあると報じている。

鮪漁船隊はフイジイの東海面で大漁獲を挙げると共に引続きクツク諸島周辺の海域でも亦一大漁獲を挙げたのである。情報によれば長期間を好天候に恵まれたためであると報じている。

米国のレポートに載つた第21黒潮丸

§.　日本に於ける最新型鮪漁船（第21黒潮丸）について

1月24日付東京駐在アメリカ大使よりの連絡によれば、目下セイロン及びマダガスカル間の印度洋に於てキハダ鮪を目的として第5次漁業操業中の第21黒潮丸は、日本に於ける鮪漁船として最新型のものであると報じている。

本船は1954年に建造された総屯数1.853屯（重量屯1383屯）の冷凍運搬船型でデーゼル2100馬力を装備し速力13節である。本船艤装としてはレーダー、ローラン、音響測深儀、方向探機、ヂヤイロコンパスを装備している。

日本に於て通常“母船”と呼ばれるものは、実際に漁業に従事する小漁船若くはキヤツチヤー（漁艇）を随伴して漁業をなす漁船を指しいうものであつて、母船は単に漁獲物を運搬し且つ必需品を供給する役目を果すだけである。第21黒潮丸はこの意味の所謂母船とは違つて6隻のキヤツチヤー（漁艇）を本船のデッキ積みとして場に向うのである。その上に又本船自らも本船より延繩漁業に従事し得られる如く装備されている。

印度洋海域への往復には夫々25日を要し、操業日数約50日航海約30日、一航海約80日である。漁獲物の大部分は、冷凍装置により凍結処理されて残り一部は復航時に氷蔵されて持帰られるのである。1航海に於ける計画漁獲高は1000屯余である。

本船所有当事者は本事業は立派な成果を挙げつつあると語つている。

帰港後、漁獲物は鮮魚、凍結品及び缶詰用として正規の商取引経路を通じて処理される。漁獲物の一部分は船舶所有者が漁獲物保蔵ということによつて、より有効的に利用しているようであるが、本船は単にその目的のみでは運営されていないようである。

印度洋への今次航海よりの帰航後は本船は5月より9月まで北太平洋に於ける鮭漁業の運搬船として使用せられる。

（台灣だより）

4月2日航空便にて台湾高雄在住の鮪漁船乗組員であると思われる一台湾青年より本会会長宛に次の如き照会文を頂きました。一読その旺盛なる研究心にはただただ頭の下る思いが致しますので誌上に転載して会員の皆様に御披露申し上げる次第であります。（勿論本会は早速と資料その他を取揃えて郵送致しました。）　以下原文のまま、

拝啓　又々新しい春を迎えました。日本ではやがて又美しい桜の花が咲く頃でしよう。何時も乍ら、新しい日本の建設にお力を尽して居られます、日本の皆様の美じく、ほがらかな笑顔を思い浮べましては、お慶びとも、お羨しいとも申し上げたい心持が致します。

始めましてお手紙など差し上げまして、さぞかし御不審にお考へになりました事と存じます。どうぞ御許し下さいませ、私は黄と申します台湾の青年です。実は遇然の機会から友人の所持します鮪漁業会誌を拝見致しまして、日本鮪漁業のすざましい発展振りと、漁業会の皆様の御活躍にすつかり心から感服致しまして矢も楯も堪らず我が身をも顧ず又大変御迷惑だとは存じ乍ら、それでいて「きつと御許し下さると」身勝手にとり定め、お手紙を差し上げました。でも今は昔と違いまして、日本の皆様から御考えになりましたら私たちはあかの他の国の人です。とそれだけが心配でなりません。私は極く最近、一寸した機会から、此方の鮪漁船で働くようになりました。そして此頃では漁業が面白くて機会がありましたら、ウント勉強したくて堪りません。それなのに私たちの国は決して恵まれていません。昔でしたら、欲しい本がありましたら、何時でも内地に註文して送つて戴けましたのに今では送金の方法もありませんし、溜息ばかりついています。先程御会会誌、鮪漁業を拝見致しましてから、是非とも手に入れたいと朝、昼、晩、何か方法はないものかと、幾日も幾日も頭を痛めましては、いつものように溜息です。ですが、これだけはどうしてでも溜息だけですませたくありません。しかし、もう明日には出港しなければなりません。これが昔でありましたら、御会にでも入会して送つて戴けましたでしようにと涙が出る思いです。御研究会にお願いして見てはと、父もいいましたが、研究会では何かと御都合もありましようと存じますし、それよりも思い切つて

菅野様にお願いして見ましようと、お手紙差し上げました次第です。それにしても、送金は出来ませんしどうしたものかと、又々途方に暮れましたが、郵便局で小包が送れるときいて参りましたので、あとで手紙と一緒にパインの缶詰を少しばかり家の者に郵便局にとゞけて戴くことにしました。どうぞ

菅野様、御慈悲ですから私の小さいお願いをかなへて下さいませんか。御鮪漁業研究会会誌「鮪漁業」を昭和30年度の分を一年分戴けませんでしようか、此の次、入港しました時、もしそれが家にとどいていましたら、私はどんなにか嬉しいか分りません。そして、まずいパインの缶詰ではありますが、お口に召しましたら、またお送り致します。

なにが良いかなあーと随分考えて見ましたが、今頃は砂糖など日本にもたくさんあるでしようし、カラスミが良いと思つて町中を探して見ましたが、今年はあまりボラがとれませんでしたので、もう今頃は何処にも残つて居りませんし、とうとう缶詰に定めてしまいました。もつと、お送りしたいんですが、小包の定量がありますので、先に10個ばかりお送りしました。ですが、なにしろ御会側の都合もありましようし、もし戴くのが出来ない時は致し方がありません。

小包はどうぞ、その儘いただいて下さい。たゞ、此の手紙を差し上げました、私の失礼をお許ししていただけましただけでも、私はどんなに心から嬉しく何時までも何時までも感謝申し上げますことでしよう。では最後になつかしい日本の益々御栄えになられますことと、皆々様の御幸福を遠い所からお祈り致して居ります。　敬具

3月16日

菅野様

黄良禄拝

台湾高雄市鼓山区興宗3巷5号

本会の図書誌の分譲其他について

◎本会発行の図書誌を分譲致しておりますから御申込下さい。漁場天気図は本会にて研究の上編集制定したものでありますから同方面の漁場へ出漁する漁船は是非御利用下さい。

会誌【鮪漁業】	第6—29号(1－5)号欠各100円	郵送料 16円
鮪類水揚地調査報告（自昭和27年5月　至昭和28年4月）	1部 300円（B5判150頁）	郵送料 24円
鮪類水揚地調査報告（自昭和28年5月　至昭和29年3月）	1部 400円（B5判226頁）	郵送料 40円
漁場天気図（東部印度洋、西部太平洋 25°N—25°S 80°E－150°E）昭和29年8月版	1部 250円（B3判50枚綴）	郵送料 48円
鮪漁船操業図（航走距離早見表、鮪類年令対体長体重表刷込）	1枚 50円	郵送料 8円
鮪漁場図（32海区劃に表示したもの）	10枚 100円	郵送料 16円

◎会員各位の鮪漁業に関する調査や研究或は体験、漁具漁法の改良、遭難防止等についての投稿其の他写真を御願いします。

◎本会に入会を希望される方は住所、氏名、職業、会誌の送り先を記入の上年間会費1000円（他に会誌送料200円）を添えて研究会宛御申込下さい。

◎本誌に広告掲載希望の方は、本会伊藤専務理事迄御申込下さい。

◎鮪漁船必携の教書とも云うべき鮪類水揚地調査報告（昭和28年度、昭和29年度分）は鮪船には是非備付けるようにしたいものです。御希望の向は代金500円（28.29年度二冊特価郵送料共）を添えて本会宛御申込下さい。

鮪　漁　業

定価100円・送料16円

（1965年4月号）

昭和31年4月10日印刷
昭和31年4月10日発行
監　集　神奈川県水産試験場調査部
編集兼発行人　菅野　進
神奈川県三浦市　神奈川県水産試験場内
発行所　鮪漁業研究会

営業品目

商船用・漁船用並びに陸上用無線通信装置の製造
装備・補修一式

七(ナナ)洋(ヨウ)電(デン)気(キ)株式会社

取締役社長　満本英一
取締役　橋本清
取締役　長田孝

本社　東京都目黒区上目黒3丁目1869番地
電話渋谷（46）8070・0606番

神奈川県漁船保険組合

組合長　矢板開一

神奈川県庁水産課内
電話本局（2）2331～9

漁業合理化の推進に是非御使用下さい!!

遂に完成された燃料界の寵児

PCC重油添加剤

通商産業大臣補助金受奨

製造元　日本添加剤工業株式会社
代理店　富士産業株式会社
川崎市浜町1丁目36番地　電話 川崎(2)4403

▷ 最高の技術――永い信用 ◁

営業種目

VHF新聞通信社用
ビーコン装置
超短波通信機
極超短波通信機
高級無線用測定器
放送施設一式
船舶用無線機
ラジオヒーター
高級無線通信機

國際電氣株式會社

取締役社長　町田辰次郎

本社・工場　東京都北多摩郡狛江町和泉150　電話砧(41)(代)7171―9番
電話武蔵調布472番
東京営業所　東京都港区芝西久保桜川町9　電話芝(43)代表7373―9番
大阪出張所　大阪市北区中之島2の25(江商ビル508号室)　電話北浜(23)4553番
福岡出張所　福岡市天神町55(伊藤ビル)　電話中(4)2589番

漁船の氷，餌料の仕込は

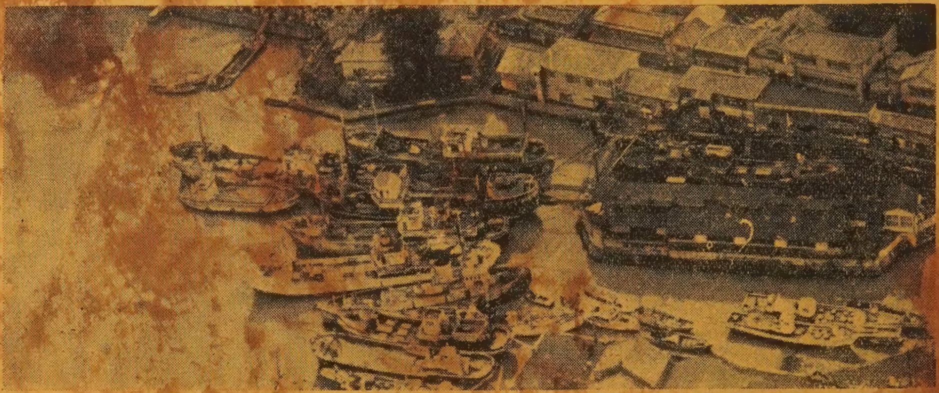
三崎漁連へ砕氷設備毎時50屯2基完備

(向ヶ崎・花暮岸壁)

凍結能力 日産一七屯
冷蔵収容量 六〇〇屯
製氷能力 日産五〇瓲
貯氷能力 五五〇瓲

三崎漁業協同組合連合会(製氷冷凍工場)
会長　寺本正市
(神奈川県三浦郡三崎港 TEL三崎609・655番)

漁船の建造修理の御相談は



ドライドック 一
長五一米、巾一〇米、深四・五米
総噸数 三〇〇噸

船架
四条軌条算盤式 二（五〇〇噸）
二条軌条式 二（二五〇噸）

下田船渠株式会社

静岡県下田港　本社工場 電話下田9・10・53　武ヶ浜工場 電話下田77・242
東京事務所　港区芝田村町4の13　電話（43）2539・8655

新工場落成量産開始

★ 太洋無線が全世界に誇る ★

各種
陸上用
航空機用
船舶用

自動方向探知機

太洋無線株式会社

東京都渋谷区衆楽町48番地
電話渋谷（46）代表5283—9番